

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
第 10 号 平成 31 年 1 月 22 日発行



今年もよろしくお願いたします

校長 松井 操人



昨年中は、本校の教育活動に多大なご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございました。地域・保護者の皆様には、改めて深く感謝申し上げます。

冬休みが終わり、静まりかえていた校舎に、子どもたちの明るく元気な声が響いています。2019年（平成31年）が子どもたちにとって希望に満ち、明るい年になることを願わずにはられません。

3学期は学年のまとめの学期 そして 新しい学年への準備をする学期

3学期が始まりました。あと2か月と少して、6年生は卒業を迎え、中学校に進学。1年生から5年生は次の学年に進級することになります。1/16の始業式で子どもたちに、「3学期は学年のまとめの学期であると同時に、4月からの新しい学年につながっていく大切な学期でもあります。次の学年に進むために自分は何をすればいいのか、しっかり考えましょう」という話をしました。

始業式では二人の児童が3学期の目標を発表してくれました。2年生の代表児童は「たくさん本を読むことと、算数の計算をがんばりたい」、5年生の代表児童は「5年生で習ったことを忘れてしまわないよう、しっかりと身に付けたい。そして、4月から自分たちは6年生になるので、立派な6年生に近づきたい」という内容でした。

学校の一年の区切りは4月ですが、新しい学年になってからがんばるのではなく、3学期のうちから助走をつけて、新しい学年のスタートである4月を迎えてほしいと願っています。

去年(こそ)今年 ^{つらぬ} 貫く棒の ^{こと} 如きもの 高浜虚子

古い年、新しい年とはいうものの、それは一本の棒で貫かれたように一続きの時間なのです。学校の一年である「年度」も同じです。

6年生にとってはよいよ卒業へ向けてカウントダウンが始まります。さらによい思い出づくりをするとともに、後輩たちに清水小のよい伝統を余すところなく伝えて、この学舎を巣立ってほしいと願っています。在校生は新しい学年への進級が待っています。学習、読書にしっかり取り組むのはもちろんのこと、さまざまな場面で自分のよさを発揮し、生き生きとした学校生活を送ってほしいと願っています。



本年も、地域・保護者の皆様のご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願申し上げます。